

8-4-19 道路構造物専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 道路構造物専門委員会の開催

専門委員会開催 11 回（定例）

各 WG 参加：随時（生産性向上 WG、維持管理対策 WG、公益活動 WG、業務体系 WG、改定道路橋示方書連絡 WG、道路会社業務検討 WG、対外活動委員会 WG、照査特別 WG、設計ソフトウェア連絡 WG、道路橋技術相談窓口 WG）

(2) 設計体系、設計技術、契約・報酬等に関する検討

施工条件明示チェックシート活用へ向けて、具体的な活用事例を通じて、業務への展開を検討した。橋梁を先進事例として、建設コンサルタントが担う各専門分野の詳細設計の品質を大きく改善するものである。

橋梁詳細設計業務における照査について、H29 改定の道路橋示方書に該当する成果に対して、ダブルチェック、第三者照査等建設コンサルタントが実施しなければならない品質確保実施の改善改良を検討している。H29 道路橋示方書による設計ソフトの妥当性や差異を検証し、ソフト会社へ提示した。

RCCM 更新教材について、追加・修正を実施した。

(3) 関連委員会と連携し成果品の品質確保、向上のための活動

技術部会の関連専門委員会・各 WG とともに、令和元年 10 月に全国 9 支部で開催した「令和元年度品質セミナー“エラー防止のために”」の内、橋梁に関する事例収集・テキスト作成・セミナー講師を担当した。

(4) 関連委員会と連携しコンサルタントの業務体系改善、技術的な公益活動、i-Con に関する検討

BIM/CIM 推進委員会活動に参加し、CIM の諸基準改定・試行による評価・調査から維持管理までのプロセス検証・ソフト開発への協力・実務者への展開検討など、関係する WG 活動へ参加し、

i-con について取り組んでいる。

(5) NEXCO（東・中・西日本各社）、首都高との実務者懇談会への参画と検討資料の作成

対外活動委員会 WG の一環として、対外活動 WG 中心で資料作成に協力した。さらに、過年度に引き続き行われた「実務レベルの課題を解決するための実務者懇談会」に対応するため、資料の作成とともに懇談会に参画した。

(6) 各種の対外活動（外部機関委員会等）への参画

協会内委員会等への参画と専門委員会としての支援として、公益活動 WG、業務体系 WG 等の協会内活動に専門委員会から委員が参画し、専門委員会での議論を通じてその活動を支援した。

(7) 各種の意見照会やアンケート等への対応

主に橋梁の設計体系、設計技術、契約・報酬等に関する意見照会やアンケートへの対応を実施した。

(8) その他の主な活動

- 日本道路協会主催の各設計・施工便覧改定 WG 等に協会委員として参加した。
- 国土総合政策研究所からの要請に応じ、共同研究へ協会委員を派遣した。
- 土木学会主催の各委員会や基準改定・策定活動へ協会委員として参加した。
- NEXCO 各社と歩掛改訂の基礎資料作成に対して協会委員として対応した。
- その他各関連協会からの要請より、委員会活動や WG 活動へ協会委員として参加した。

2. 次年度の活動について

次年度も以下の活動を継続的に実施し、新たな課題への対応も実施する。

- 橋梁等の道路構造物に関する設計体系や報酬、構造設計技術等に係る検討、本省・国総研等との意見交換会への参加
- 関連専門委員会と連携した成果品の品質確保・向上のための活動

（道路構造物専門委員会委員長 鷲見 英吾）